

平成 29 年 5 月 31 日

各 位

会 社 名 : 日本エンタープライズ株式会社
 代 表 者 名 : 代表取締役社長 植田 勝典
 (コード番号 4829 東証第一部)
 問合せ先責任者 : 常務取締役 田中 勝
 T E L : 03-5774-5730

【株式会社会津ラボ】 「ブロックチェーンを活用した電力取引サービス」等の 商用化に向けた共同実証を開始

～世界が注目する「Hyperledger Iroha」のユースケース・パートナーに参画～

日本エンタープライズ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:植田勝典)の子会社、株式会社会津ラボ(本社:福島県会津若松市、代表取締役社長:久田雅之、以下会津ラボ)は、ブロックチェーンのスタートアップ企業であるソラミツ株式会社(本社:東京都港区、共同最高経営責任者:岡田隆／武宮誠、以下ソラミツ)がオープンソースとして公開するブロックチェーン基盤「Hyperledger Iroha(以下「いろは」)」の電力領域におけるユースケース・パートナーとなり、ブロックチェーン技術を活用した様々な電力サービスの検討を開始しましたことをお知らせいたします。

「いろは」は、ソラミツが主導して開発する日本発の分散型台帳技術ブロックチェーン基盤です。ブロックチェーン技術の普及を目的としてLinux Foundationが立ち上げた共同研究プロジェクト「Hyperledgerプロジェクト」に、米IBM等の「Fabric」、米インテルの「Sawtooth Lake」に続き、平成28年11月、世界で3番目に採用されました。高スループット且つ低レイテンシーを特徴とし、デジタル決済、契約管理、アイデンティティマネジメント、サプライチェーン・マネジメントなど様々な領域での活用が期待されており、世界のブロックチェーン市場で大きな注目を集めている技術です。

今般のパートナー参画を通じ、会津ラボは、ブロックチェーン技術をスマートメーターに組み込んだシステム開発の実績・知見を活かして、エネルギー事業を展開する株式会社エナリス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:小林昌宏、以下エナリス)が推進する新しい電力サービスの商用化に向けた実証等を共同で行います。また、「いろは」を用いた学内通貨実証の経験をもつ公立大学法人会津大学(所在地:福島県会津若松市、理事長兼学長:岡嶋一、以下、会津大学)がアドバイザリーとして参画いたします。

本取組みによって、再生可能エネルギーや個人が創出する電力(創エネ、省エネ、蓄エネ)を有効に活用できる分散型エネルギー社会への移行に貢献し、将来的に個人が自由に電力取引ができる社会の実現を目指してまいります。

開発パートナー

■ソラミツ株式会社	: http://www.soramitsu.co.jp/
■株式会社エナリス	: http://www.eneres.co.jp/index.html
■公立大学法人会津大学	: http://www.u-aizu.ac.jp/

本件に関するお問い合わせ

■報道関係者の方 日本エンタープライズ株式会社 管理本部 広報・IR グループ 【担当:松本、渡辺】
 TEL:03-5774-5730 FAX:03-5774-5735 MAIL: ir@nihon-e.co.jp

■サービスに関するお問い合わせ 株式会社会津ラボ 【担当:久田】
 TEL:0242-23-8285 FAX:0242-23-8286 MAIL: info@aizulab.com

<http://www.nihon-e.co.jp/>

平成 29 年 5 月 31 日

各 位

会 社 名：株 式 会 社 会 津 ラ ボ
代 表 者 名：代表取締役社長 久田 雅之
T E L：0242-23-8285

「ブロックチェーンを活用した電力取引サービス」等の 商用化に向けた共同実証を開始

～世界が注目する「Hyperledger Iroha」のユースケース・パートナーに参画～

株式会社会津ラボ(本社:福島県会津若松市、代表取締役社長:久田雅之、以下会津ラボ)は、ブロックチェーンのスタートアップ企業であるソラミツ株式会社(本社:東京都港区、共同最高経営責任者:岡田隆／武宮誠、以下ソラミツ)がオープンソースとして公開する、ブロックチェーン基盤「Hyperledger Iroha(以下「いろは」)」の電力領域におけるユースケース・パートナーとなり、ブロックチェーン技術を活用した様々な電力サービスの検討を開始しましたことをお知らせいたします。

「いろは」は、ソラミツが主導して開発する日本発の分散型台帳技術ブロックチェーン基盤です。ブロックチェーン技術の普及を目的としてLinux Foundationが立ち上げた共同研究プロジェクト「Hyperledgerプロジェクト」に、米IBM等の「Fabric」、米インテルの「Sawtooth Lake」に続き、平成28年11月、世界で3番目に採用されました。高スループット且つ低レイテンシーを特徴とし、デジタル決済、契約管理、アイデンティティマネジメント、サプライチェーン・マネジメントなど様々な領域での活用が期待されており、世界のブロックチェーン市場で大きな注目を集めている技術です。

今般のパートナー参画を通じ、会津ラボは、ブロックチェーン技術をスマートメーターに組み込んだシステム開発の実績・知見を活かして、エネルギー事業を展開する株式会社エナリス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:小林昌宏、以下エナリス)が推進する新しい電力サービスの商用化に向けた実証等を共同で行います。また、「いろは」を用いた学内通貨実証の経験をもつ公立大学法人会津大学(所在地:福島県会津若松市、理事長兼学長:岡嶋一、以下、会津大学)がアドバイザリーとして参画いたします。

本取組みによって、再生可能エネルギーや個人が創出する電力(創エネ、省エネ、蓄エネ)を有効に活用できる分散型エネルギー社会への移行に貢献し、将来的に個人が自由に電力取引ができる社会の実現を目指してまいります。

1. ブロックチェーンとは

仮想通貨の中核技術として広く知られているブロックチェーンは、二者間の取引を効率的かつ検証可能な方法で記録することができる分散台帳です。

これまでの中央管理型のデータベースでは、一つの管理者(中央管理者)が取引情報を集約・管理し、管理者を通して取引が実行されるのに対し、ブロックチェーンは、取引の当事者同士が直接取引情報をやり取りし、その取引情報を複数の台帳(分散台帳)で記録します。データを一ヵ所に集めずに、データを分散・共有することで、中央管理者を必要とせず、データ改ざんを防止し、情報システムが止まりにくいという特長をもちます。

個人間の速やかで安全な取引を可能にする技術として注目されており、海外では、既に、電力データを「ブロックチェーン」に記録したうえで、電力取引などに活用する試みが始まっています。

2. 「いろは」について

「いろは」は、ソラミツが主導して開発を進める、日本発のブロックチェーンのオープンソースソフトウェアであり、米 IBM の「Fabric」、米 Intel の「Sawtooth Lake」に続いて、世界で 3 番目に Hyperledger プロジェクト(Linux システムの普及に取り組む非営利のコンソーシアムである、Linux Foundation が立ち上げたブロックチェーン技術の普及に向けての共同研究プロジェクト)に受諾されました。

国産のブロックチェーン基盤である、「いろは」の主な特長としては、以下が挙げられます。

- ・高速スピードで非常に高いパフォーマンスを実現するアプリケーション構築が可能
- ・開発者に理解しやすく、開発しやすいシンプルな設計
- ・モバイルアプリが簡単に開発できる iOS と Android のライブラリーを用意

3. 本取組みの意義

近い将来、再生可能エネルギーの発電設備や電気自動車(EV)、蓄電池がさらに普及し、自由に電力を融通し合うことによって、電力を効率的に活用できる分散型エネルギー社会が訪れると考えています。

しかし、分散型エネルギー社会を実現するためには、法人や個人、さらに電気事業者が自由に、簡単に電力取引を行える環境が整う必要があります。

「いろは」のブロックチェーン技術は、デジタル決済、契約管理、サプライチェーン・マネジメントなどへ当事者間で対応することを可能にします。これにより、例えば、小売電気事業者間で台帳を共有することにより、事業者間での取引や複雑な精算を低コストかつ簡単な手続きでセキュアにできるようになることが想定されます。また、消費者は、ライフスタイルに合った多彩な料金メニューや付加サービスを、簡単な手続きで利用できるようになる可能性があります。さらに、将来的には個人間の余剰電力取引やネガワット取引も、ブロックチェーン技術を活用することで可能になると 생각ています。

開発パートナー

■ソラミツ株式会社	http://www.soramitsu.co.jp/
■株式会社エナリス	http://www.eneres.co.jp/index.html
■公立大学法人会津大学	http://www.u-aizu.ac.jp/

株式会社会津ラボ

コンピュータ理工学を専門とする国際色豊かな公立大学法人「会津大学」(平成 5 年 4 月開学)の第 1 期生が、平成 19 年 1 月に設立。平成 24 年 4 月に商号を株式会社会津ラボへ改めました。会津ラボは、「会津大学」の大学発ベンチャー企業として公式認定を受けています。「会津大学」建学の理念“*to advance knowledge for humanity*”を掲げ、人類の為になる高度な知識と技術を世の中へ創出してまいります。

(1) 名 称	株式会社会津ラボ
(2) 所 在 地	福島県会津若松市インター西 53 2F
(3) 代 表 者	代表取締役社長 久田雅之
(4) 事 業 内 容	iOS/Android 対応アプリケーションの開発/研究開発 ホームページ制作/3DCG 作成/映像加工/イラスト作成/各種デザイン
(5) 資 本 金	2,950 万円
(6) 設 立 年 月 日	平成 19 年 1 月 4 日
(7) U R L	http://www.aizulab.com/

本件に関するお問い合わせ

株式会社会津ラボ 【担当:久田】 TEL:0242-23-8285 FAX:0242-23-8286 MAIL:info@aizulab.com

<http://www.aizulab.com/>

記載されている会社名及び商品名／サービス名は、各社の商標または登録商標です。